

地域の危険度マップ

清見地域

危険度マップ・全壊率 凡例

危険度1	0%以上～3%未満
危険度2	3%以上～5%未満
危険度3	5%以上～7%未満
危険度4	7%以上～10%未満
危険度5	10%以上～20%未満
危険度6	20%以上～30%未満
危険度7	30%以上

「危険度マップ」の見方

「危険度マップ」とは、裏面の「揃えやすさマップ」で示した強さの地震が起きたとき、建物の被害予想を「危険度」として表示したものです。地図上には、建物が存在するメッシュ（約50m四方）についてのみ着色しています。

飛驒市

白川村

国府地域

高山地域

莊川地域

一之宮地域

下呂市

非常持ち出し品を用意しましょう

●被災地に救援物資が届くまでには3日かかるといわれています。
持ち出し品はこの3間に必要なものを厳選しておきましょう。

一次持ち出し品(例)



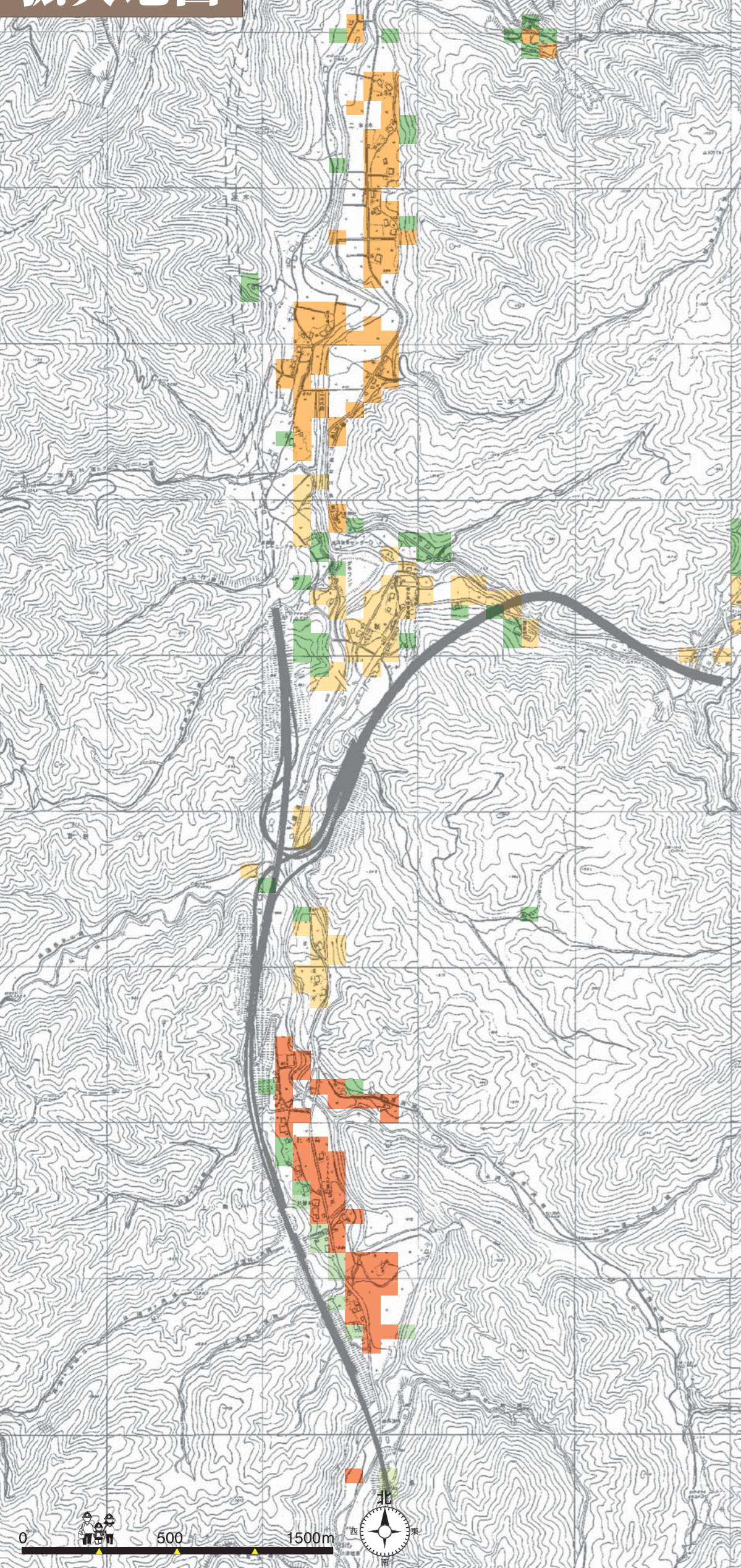
●家族構成など必要に応じて準備しましょう。乳幼児やお年よりなどで特に必要なものがあれば追加しておきましょう。
●非常持ち出し品は定期的に点検なし、保存状態や使用期限などをチェックして、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

二次持ち出し品(例)

大災害時に、組織的に救援・復旧活動が軌道に乗るまで、最低3日間は自活できるようにしておきましょう。
●非常持ち出し品は定期的に点検なし、保存状態や使用期限などをチェックして、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

飛驒市

拡大図



家族防災会議を開きましょう

いざという時に家族があわてず行動できるよう、家族防災会議を開いて、家族一人ひとりの役割分担や対処方法を決めておきましょう。



家族一人ひとりの役割を決める
災害弱者の支援方法を決めておく
非常持ち出し品の準備とチェック
地震発生時の連絡方法を決めておく
避難場所と避難ルートの確認をする

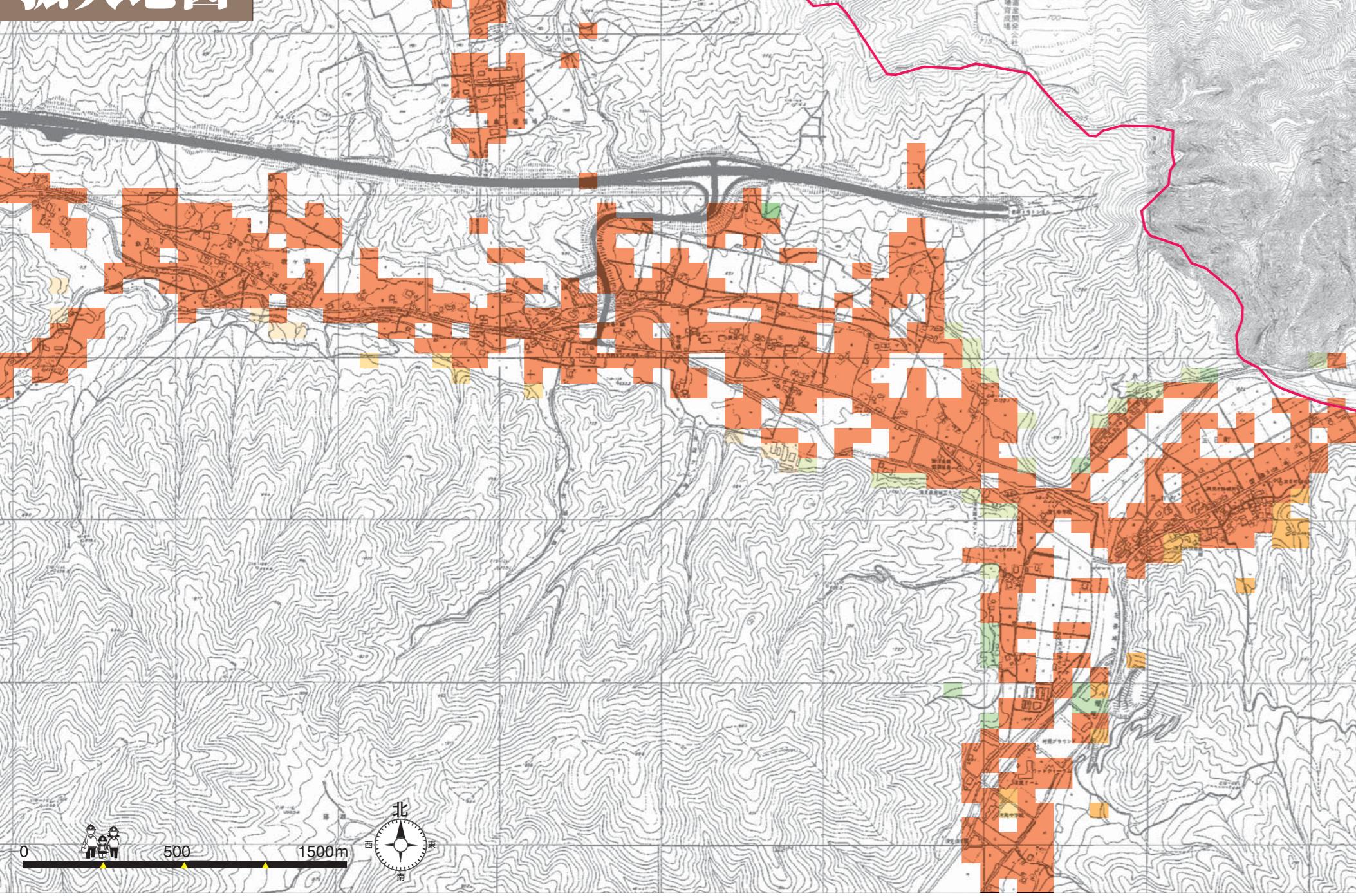
耐震診断・耐震補強工事の助成制度について

高山市では、地震に強い安全なまちづくりを目指すため、市内の建物所有者を対象とした「耐震診断」、「耐震補強工事」の助成制度を設けています。この制度を受けるには、要件がありますので、詳しくは高山市基盤整備部整備課までお問い合わせください。

住宅の耐震性について

地震における木造住宅の倒壊率は、古い住宅ほど高く、耐震壁の少なさやバランス配置の悪さ、老朽化等が倒壊の原因であるといわれています。特に、昭和56年5月31日以前に着工している場合や平面の形状が不整形な場合等では、耐震性が低い傾向にあります。心当たりがある方は、専門家による「耐震診断」を受けましょう。

拡大図



郡上市

家の内外の地震対策を進めましょう

